



## 新市長誕生後の市政について



令和会 ● 大島 正秀 議員

**問** 湖南市にある幼稚園・保育園等22園の現状についての中間移管された保育園・幼稚園の建て替えについて

**答** 民間移管した6園のうち、非耐震施設の4園の建て替えを順次行つて頂く予定です。

令和3年度に三雲くじら保育園と阿星あかつき保育園の2園を、令和4年度に京進のほいくえんHOPPA湖南水戸の1園を、その後、京進のようちえんHOPPA石部を計画しています。その際、建て替えの設計段階から敷地内での駐車場確保を行うよう調整をして頂く予定です。

**問** デマンド交通について、現状及び今後の方向性について

**答** デマンド交通については、コミュニティバスが運行されている

路線の中で、平均乗車密度の低い路線を対象にした新たな移動手段として、デマンド交通の導入について検討を行い、利便性の向上と利用促進を図るため、予約制小型乗合自動車運行事業として取り組みを進めているところです。今後は、予約制小型乗合自動車運行事業の実施に向けて、運行形態、運行事業者の選定方法、実施時期等、詳細についての検討を進め、市民の皆様や議会の皆様からご意見をお聞きして実証運行を開始し、利用状況や運行状況を精査・分析し、対応策を講じ、本格運行へと移行できるように取り組んでいきたいと考えています。



## コミュニティバス無料乗車券を本人以外も!



令和会 ● 森 すなお 議員

**問** 私は、広報広聴の場を「ゆうの会」と銘打ち、広報紙などで市民の皆さんに開催をお知らせしています。先日、開催した第53回目の場で、参加された市民の方から、市が本年9月から、満70歳以上の方を対象に申請受付を始めた、コミュニティバス「めぐるくん」の無料乗車券について、「私の分の無料乗車券が妻にも利用できれば助かる。」とのご意見がありました。無料乗車券の利用者制限の緩和措置を早急に講じていただきたいと思います。いかがですか。

**答** 森議員の発言通り、本人以外も利用できるように利用者制限を緩和すべきだと思いますし、併せて、無料乗車券を市役所まで取りに来なくてもよい仕組みを、自身のことだとの

思いで考えます。

**市長の政治スタンスは**

**問** 市民に寄り添い、血の通った政治を行うには、市民の声、議会や議員の発言に耳を傾けることが大切です。

生田市長は、前市長と異なり、議会の各種会議に出席したり、各まちづくり協議会と意見交換したりされていますが、市民、議員に対する市長の姿勢についてお尋ねします。

**答** 自分と異なる意見を大切にし、情報を共有しながら、より多数での議論の場が必要です。また、人間は、その能力に大差はなく、追い込まれてこそ、その真価が問われるものだと思いますが、政策は、皆の助け合いによって進められるものだと信じています。議員の皆さんにも、一緒に考え、一緒に動いてほしいと思います。